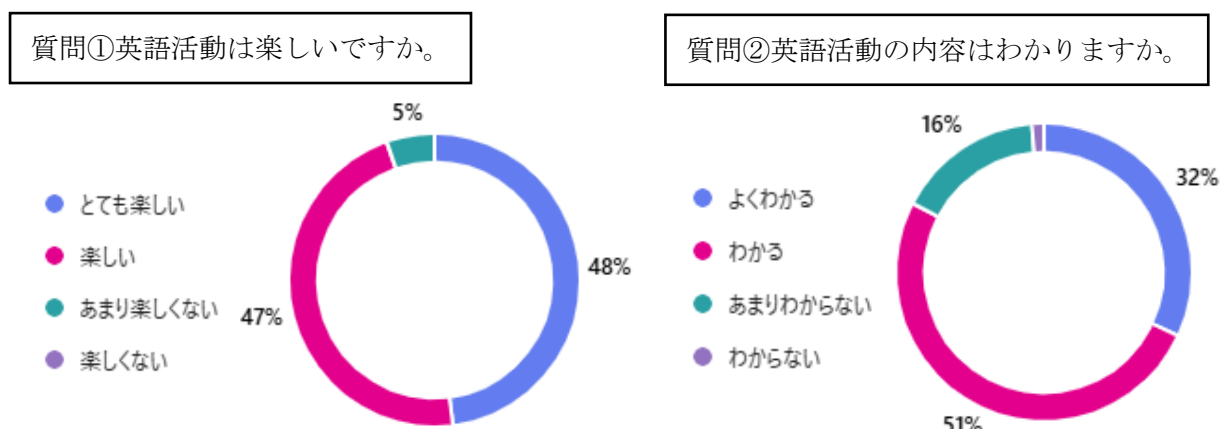


令和 7 年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和 7 年度に英語活動を行っていた現 2 年生から 4 年生の児童にアンケートを行いました。質問①「英語活動は楽しいですか。」に対し、「楽しい」、「とても楽しい」と回答した児童は、全体の 95% で、昨年度より 3% 増加しています。「あまり楽しくない」の割合は変わりませんが、昨年度 3% いた「楽しくない」と回答した児童は 0 になっています。質問②「英語活動の内容はわかりますか。」という質問に、「よくわかる」、「わかる」と回答した児童は、全体の 83% という結果になりました。こちらは昨年度よりも 4% 減少しています。

【資料 1】児童のアンケート結果



このことから、ほとんどの児童は日々の DVD 視聴を通して、英語活動を好意的に捉えることができます。その一方でおよそ 10% の児童は楽しさを感じつつも理解を伴っていないこと、5% の児童は理解ができないことからあまり楽しくないと感じていることが伺えます。そのため、DVD 視聴時に内容を理解できているかを確認、繰り返し反復練習をしていくことで、より自信をもって活動に取り組み、分かりやすく・楽しい時間にすることができると考えられます。

2 学校関係者評価結果

令和 7 年度評議員訪問で、英語の時間を参観していただいた学級がありました。授業内で学習した表現を活用して友達と楽しそうに会話をする様子や、動画を観て聞こえたことを積極的に発表する児童の様子を見て、「日頃の学習が生かされ、自ら進んで学習しようとしていることが分かる」と言っていました。このことから、日々の活動によって

英語でコミュニケーションをとることを楽しんでいる児童や単語や文章の聞き取りを進んで取り組むことができる児童がいることが伺えます。

3 まとめ

1, 2の様子から、児童は自発的に取り組もうとはしているが、理解できていない単語や表現があることが分かります。そのため、児童が自信をもって学習に取り組むことができるように、難しい単語や発音しづらい箇所を教師が支援していく必要があると言えます。DVDの視聴を通して発音等を繰り返し練習する機会を設けたり、DVDの視聴中に必要に応じて停止することや視聴後に担任との確認の時間を設けたりするなどして取り組んでいき、より児童にとって分かりやすく・楽しい時間になるように努めて参ります。